

安全・安心なまちをめざして 養父市消防大会を開催

新年度がスタートして初めての日曜日だった4月3日、養父市消防大会が養父市役所本庁舎周辺で行われました。
この日は、市消防本部職員および市内各分団から約540人が八鹿文化会館に参集。分列行進や式典、一斉放水を行い、安全で安心して暮らせるまちをめざして新年度のスタートをきりました。



片岡稔消防団長らが見守る中、整然とした分列行進をする市消防団員（市役所前駐車場）

功績のあった団員を表彰

梅谷馨市長や片岡稔消防団長らが見守る中、参集した団員並びに消防車両が市役所駐車場で整然とした分列行進を行った後、八鹿文化会館で式典を行いました。

式典では、片岡団長が「昨年、大きな被害をもたらした台風災害をはじめ、地域の安全を守るのは我々消防人です。これからも事故のないようご尽力いただきたい」と訓示をしました。その後、功績のあった団員に対して市長らから感謝状・表彰状の授与、消防庁長官などからの表彰伝達が行われました。



表彰伝達を受ける団員

一斉放水で 今年度をスタート

式典後、市消防本部職員による救助訓練が市役所庁舎を使用して行われました。

この訓練は、養父市を震源とするマグニチュード7の地震が発生したことを想定して行われたもので、損壊した市役所内に取り残された人を、ロープ射出機とはしごを使い素早く救出しました。

その後、八木川河川敷に会場を移し一斉放水を実施。各方面隊の代表が、息を合わせて4色のカラー放水を行い、防災活動への気持ちを新たにしていきました。



八木川河川敷で行われた4色のカラー放水